

インタビュー：臼井正一会長に聞く

## 月星会の今後を本音で語る

## 今できる方法で

## 「人と人とのつながり」を築いていく

### INDEX

臼井正一会長に聞く	1
バスハイク	2
押印廃止について	3
第1回経営研修会	3
例会委員会	4
スケジュール・編集後記	4

### コロナ禍中、最良の方法で活動したい

——大変な時に月星会の会長になりましたね。人が集まって共に勉強したり、楽しく食事しながら会話を楽しんだりという当たり前の活動が“悪”だというわけですから。他の経営者団体などはどうしているのでしょうか。ご存知でしたら。

**臼井正一会長（以下、「会長」と略称）** 私が入っている月星会以外の経営者団体はライオンズクラブですが、月星会と同じように例会はリモートで行い、総会などは全員が書面で意思表示するというやり方をしています。

今の状況ではどこもこういうやり方で活動を続けるしかないでしょうね。ちなみに、この状況の中で献血が不足しているのですが、ライオンズでは率先して献血活動を行っています。

——前月号の会報一面の中でとても印象に残るくだりがありました。人類がここまで繁栄してきたのは、「人と人とのつながること」とズバリ断言しているところです。全くその通りだと私も思います。

**会長** ありがとうございます。でも、このコロナ禍のなかではしょうがないですよ。今は「三密」を避けて、人と距離を取る、人を避ける、人が集まる密をつくらないという原則を守らないと感染者がどんどん増えてしまいます。今は、新しい生活様式に慣れ、感染者を増やさないことが何よりも重要ですから。

この状況下でどのような方法で「人と人とのつながり」を築いていくか、どういう形が現在のベストか、一所懸命に考えながらやっていきたいと思っています。その一例が11月14日に行った経営研修会、オンラインミーティングについての勉強会です。慣れない研修会だったので、バタバタした面もありますが、慣れてくればオンラインで研修や会議ができるようになります。



### 会報の企業訪問を楽しみに

——オンラインでの会議や商談によって互いに話に集中することができて対面よりも効率がよいと話すビジネスパーソンは少なくありません。慣れれば誰でもスムーズにできる方法ですから、これは広めたいですね。このことにより、テレワークも広がります。

コロナ禍の話はこのくらいにして、長期的な視点で「今後の月星会」についてお聞きしたいのですが……。

**会長** そうですね。月星会の発足時は、国会議員である父を中心に活動していました。現役の国会議員を囲んで国政についてのリアルな話を聞くという機会をありがたく思っていた会員は多かったでしょう。当然のことですが、現役を退いてからはそういうリアル感はなくなりました。

父は月星会を一番大切にしていました。それは今も変わっていないと思います。ご承知のように、秋の一泊旅行は本当に何よりも楽しみにしていて、毎年、最優先でスケジュールを確保していました。しかし、月星会は父を中心にした活動から経営者同士で学んだり、親睦を楽しんだりという色彩がだんだん濃くなってきました。私は親睦団体でもいいのではないかと考えています。



新しく入った会員が楽しい会にしようと積極的に役割を果たしているのは、とても良いことだと思っています。

——最後に、会報についてのご意見はありますか。

**会長** 会員企業訪問という企画はいいですね。必ず読んでいましたが、最近はややなかなか登場がないのは淋しいです。会員がどんな事業活動をしているのか、企業経営をどう考えていらっしゃるかというのは興味があります。

(インタビュー・奥平)

バスハイク (日帰りバス旅行) 令和2年10月10日

於：銚子方面

## コロナ禍中も、安心と元気のバス旅行！ 家族で存分に楽しませていただきました!!

令和2年の9月某日、月星会から送信されたファックスに目が留まった。

「おっ、銚子電鉄じゃないか！ バスと電車。これはハル君が喜ぶぞ。連れて行ってやろう」

ハル君とは、まだしゃべれない1歳半の孫。乗り物が大好きで、乗ると大はしゃぎしたり、車窓に流れる風景をじっと見つめていたり、とにかく夢中になる。さっそく、妻と長女 (ハル君の母)、次女を誘ってみると、みんな大賛成。

というわけで、旧家族4人+1歳児で月星会の親睦バス旅行に参加させてもらった。何かと話題の銚子電鉄には、一度は乗ってみなきゃと思っていたし、昼食に「一山いけす」というのも嬉しい企画だ。新型コロナウイルスが少し気になったが、感染防止策をしっかりと書いたので、ここは親睦委員会と桜木観光を全面的に信頼した。

当日はあいにくの雨。が、ハル君を楽しませなきゃ…という思いからか、あまり気にならなかった。当人は走っているバスが嬉しいようで目をパッチリ開けて満足そう。

最初に観光したのは、飯岡の展望台。ここはやっぱ晴天がいい。続いて、早くもランチタイム。

2階の団体席で地元の磯料理を堪能した。ハル君はというと、食べ物には関心がなく、早くバスに戻りたい雰囲気。

そして、いよいよ銚子電鉄だ。ハル君はずっと車窓の流れる景色を見ながら、満足そうだった。

家族も皆、楽しませていただきました。会員のみなさんが、ハル君に気をつけてくれたのも嬉しかったし、協賛いただいた方々のおかげでお菓子食べ放題、ビール飲み放題というのも素晴らしい。優しさに満ちた月星会員に大感謝です。(奥平)



## ●会員に聞いた押印廃止について●

日本の内閣総理大臣が9月16日より変わり、菅内閣が発足しました。その中でもいち早く動き出した行政改革・国家公務員制度担当の河野太郎大臣が打ち出した押印の廃止についてどのように考えているか会員にお聞きしました。

- …書類が印鑑を捺印する箇所が多すぎ、一つでも押し忘れて訂正で少しの訂正のために再度役所へ行かなければならない。他にも仕事がある中では時間の無駄だと思うことがある。そのような部分を考えると、押印の廃止はどんどん進めてほしい。ただ、判を押すのは日本の文化になっている部分もあるので、負担にならない程度にはあって欲しいとも思う。本人の確認など難しい部分もあると思うが、そのようなことにも十分対応して押印を廃止してほしい。
- …千葉市は申請書の押印が廃止されているものもあり、見直しが進んでいるものもある。また、デジタルでの申請ができるものもあり、申請は楽になった。廃止できないものもあるが、さらに廃止される押印は増えると思

う。ただ、企業となると融資や補助金の申請など、重あ要度の高いものは実印や印鑑証明が必要になる。このようなものの押印廃止のハードルは高いように思う。そのうち廃止になるかもしれないが、直近では難しいだろう。デジタル化もあり効率化が進む中で、難しい問題ではあるが、なりすましに対する対策を講じることができれば、押印の廃止は更に進むと思う。

- …企業や官公庁などの組織においては、押印なくして合意や確認は成立しなかった。その期間が長く続いた結果、日本人の多くが押印の必要性や負担に疑いを持たず、当たり前のこととして扱ってきた。宅配などの受け取りが、生活に押印が深く浸透したことがわかる。このような現実もあるが、押印廃止は生活の負担軽減に繋がる。会社においては、まだ押印が廃止されるものは少ないかもしれない。また、会社によっては電子文書に対し、電子印鑑を使用しているところもある。印鑑の信用度は会社間においては高いものがあるのではないだろうか。このような状況もあるので、政府には信用の持てる押印廃止を進めてほしい。

第1回経営研修会 令和2年11月14日

於：ホテルグリーントワー幕張

## オンラインミーティングについて学ぶ

月例会令和2年度第1回経営研修会は、ニューノーマル時代に必須となる、オンラインミーティングについての勉強会として企画しましたが、パソコンに対する苦手意識が先行したのか、はたまたニーズにマッチングしていなかったのか、参加者が20名と少なかったのが残念でした。

また、運営においても、集合しながらZOOMを併用するという、今までにはないカタチだったため、当日にバタバタしてしまったこと、第2部のディスカッションも企画通りにうまく回せなかったこと、ブレイクアウ

トルームの作り方についてもリハーサルを怠って失敗したことなど、反省点が多い内容となりました。

ただ、稲垣先生の講義自体は非常に素晴らしく、大変参考になりました。

また、懇親会も会場的には話がしにくい設定で、14名と参加者は少なかったのですが、現況報告の機会を設けて参加者全員からお話を聞いたことは良かった点として挙げられます。

今回の研修会を終えて、一番嬉しかったのは、参加者がパソコンを勉強するきっかけとなったという話を聞いたことです。少しでも役に立ったと実感しております。

皆様、ご参加ありがとうございました。次回の参加もお待ちしております。

(小川智之研修委員長)



## 例会委員会報告

8月例会 令和2年8月27日(木) 於：鯨割烹みどり

8月27日の例会は月星会の会長経験者でもある桜木観光の高柳啓一様による卓話でした。コロナ禍における観光業界、特に貸切バス事業における経営の実状をざっくばらんにお話しいただきました。稼働がなくても保険や車両整備等の固定費が重い事業構造で、固定費を縮減しつつ、業界ガイドラインを遵守し感染予防対策を徹底し、経営者として困難に直面しても事業を継続していく意思を力強く語っていただきました。バスは換気が優れた乗り物であるとのこと、必要な対策をとりつつ利用したいものです。



9月例会 令和2年9月25日(木) 於：鯨割烹みどり

9月25日の例会では会員でもある司法書士の佐々木智久様より、相続法に関する最新の状況についての卓話を行っていただきました。約40年ぶりの相続法の大きな改正により、配偶者居住権の創設や、介護や看病に貢献した親族への遺産分配など、より実状に即した相続のルールが適用されるようになりました。新しい制度をどのように使っていったらよいか、この機会に専門家に相談するのもしょかもしれません。



### 2月～3月のスケジュール

2/3(水)	役員会	18時00分開会	鯨割烹みどり
2/25(木)	夕食例会	18時開会 15分前より入室可 参加費 無料 ZOOMでの開催となります	
3/3(水)	役員会	18時00分開会	鯨割烹みどり
3/13(土)	第2回経営研修会(延期)	緊急事態宣言解除直後の日程のため延期	
3/25(木)	夕食例会	18時30分開会	鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円

10月例会 令和2年10月22日(木) 於：鯨割烹みどり

10月22日の例会では会員の社会保険労務士の森本哲郎様より、労務管理に関する卓話を行っていただきました。特に「同一労働同一賃金」に関して、実際の事例に即した最高裁判例を紐解きながら、中小企業経営者が注意すべき点について解説くださいました。働き方改革関連法として成立した「パートタイム・有期雇用労働法」の施行が中小企業では2021年4月から適用となり、幅広い説明義務が求められるようになるため、法改正の趣旨を踏まえて自社の制度の見直しをしていかなければならないとのことでした。



11月例会 令和2年11月27日(金) 於：鯨割烹みどり

11月27日の例会では、千葉市美浜区で理容室を運営されているヘアサロンナカガワの仲川信雄様をお招きし、理容室の現場における新型コロナウイルス感染症対策についてお話を伺いました。クラスターを出してしまえば営業ができなくなるという危機感から、とにかく徹底した感染対策をされていることが伺えました。日常のマスクの取り外しの際のリスク等、気を付



けているつもりでも見落としてしまう点も教えていただき、一層の感染予防の意識が高まる卓話でした。

12月例会 令和2年12月23日(水) 於：鯨割烹みどり

12月23日の例会では月星会会員でもある千葉市議会議員の小川智之様による卓話を行いました。千葉市で生まれ育ち、25歳の若さで市議に当選されてから6期22年間の議員生活で感じていること、千葉市政に対する想いを存分に語っていただきました。地域に密着した活動を続けてこられた小川議員のお話は



具体的で、質疑応答でも、参加者からのより良い千葉市にするための提案に丁寧に耳を傾けて答えられていたのが印象的でした。

### 訃報

小野成子氏 (株)プラント東葉 11月19日ご逝去